

御中

従業員の皆さま向け
マナーセミナーのご提案

株式会社 ○○○○

20XX年XX月XX日

株式会社〇〇〇〇〇について

■経営理念

XXXXXXXXXX

■ビジョン

XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

■当社の想い

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX

■会社概要

商 号:XXXXXXXXXX
所在地:〒XXXX-XXXXXX XXXXXXXXXXXX
連絡先:フリーダイヤル XXXX-XXX-XXX
TEL XXX-XXX-XXXX / FAX XXX-XXX-XXXX
代表者:XX XX

MAG代理店の店舗写真等
貼り付け

MAG代理店の
店舗写真等
貼り付け

本日のご提案

ご存知の通り、日本においては少子高齢化が進み、将来に対するお金の不安を持っている方が増えています。金融広報中央委員会の調査では、「金融教育を行うべき」と思った人の中で、「金融教育を受けた」人の割合は1割にも満たず、日本において金融教育のニーズは非常に高いものとなっています。貴社の従業員さまがより安心して仕事に従事いただけるよう、セミナーのお手伝いをさせていただきます。

〔セミナーの内容〕

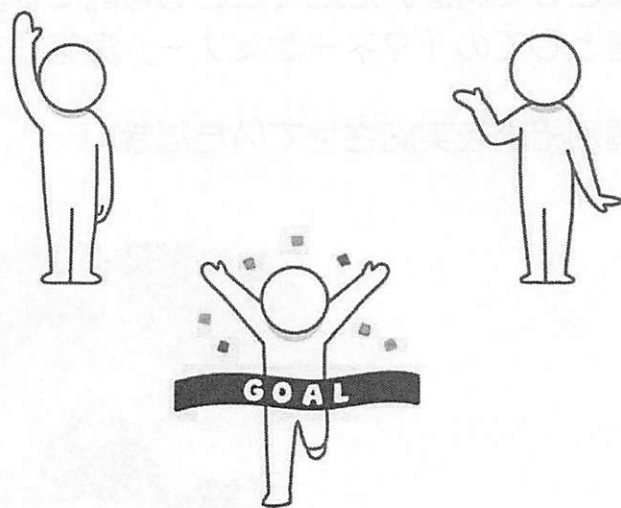
1. 人生における「マネープランニング」のポイントをご説明します。
従業員さま向けのセミナーとして、貴社の福利厚生の一環として開催いただくことも可能です。
「保険商品」や「保険相談セミナー」ではなく、金融教育としての「マネーセミナー」実施します。
2. セミナー開催後、相談希望のあった全ての従業員さまに個別相談を実施させていただき、問題解決のお手伝いをさせていただきます。
3. 貴社ならびに従業員さまのご負担は無料です。
セミナー会場（会議室等）、
機材（プロジェクター、ホワイトボード等）のご準備、
セミナー開催の社内発信、出欠確認をお願いいたします。



マネーセミナーにおける従業員さま、貴社のメリット

従業員さま

- 貴社主催セミナーをきっかけに、手軽にマネープランニングをスタート。
- 福利厚生制度を事前に把握させて頂くことで、貴社仕様のセミナー、個別相談にカスタマイズ。



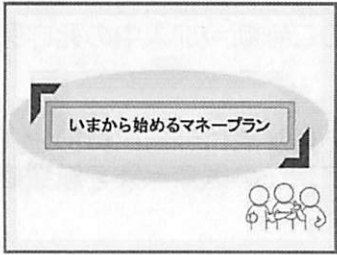
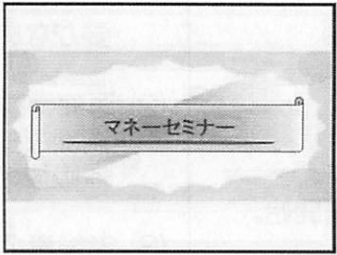
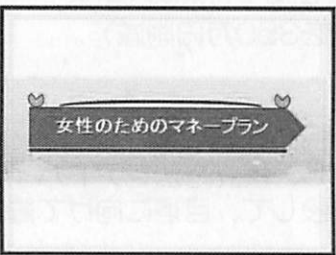
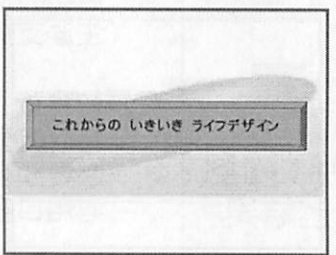
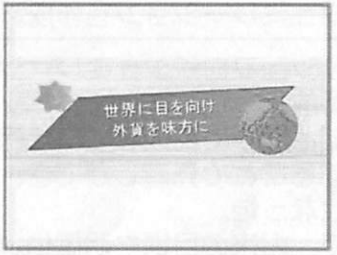
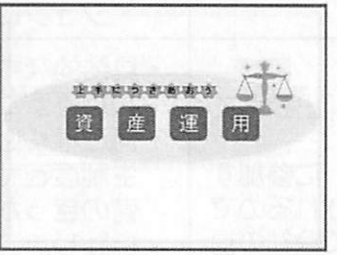
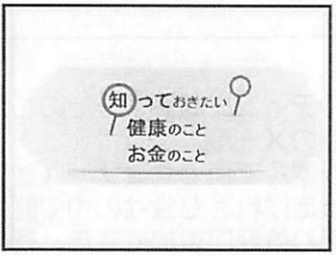
貴社

- 従業員さまがマネープランニングを実施することで、より安心して業務に従事。
- 福利厚生制度をセミナー内で説明することで、福利厚生制度の理解度が向上。
- アンケート集計結果を今後の人事福利厚生制度検討のデータとしてご活用。
- 従業員さまの福利厚生制度の満足度の向上。



セミナーメニュー

- ・世代別、テーマ別メニューにより、従業員さまの属性に合わせたセミナー開催が可能
- ・福利厚生制度に応じて、貴社独自のセミナープログラムの作成もご相談可能

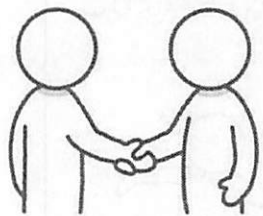
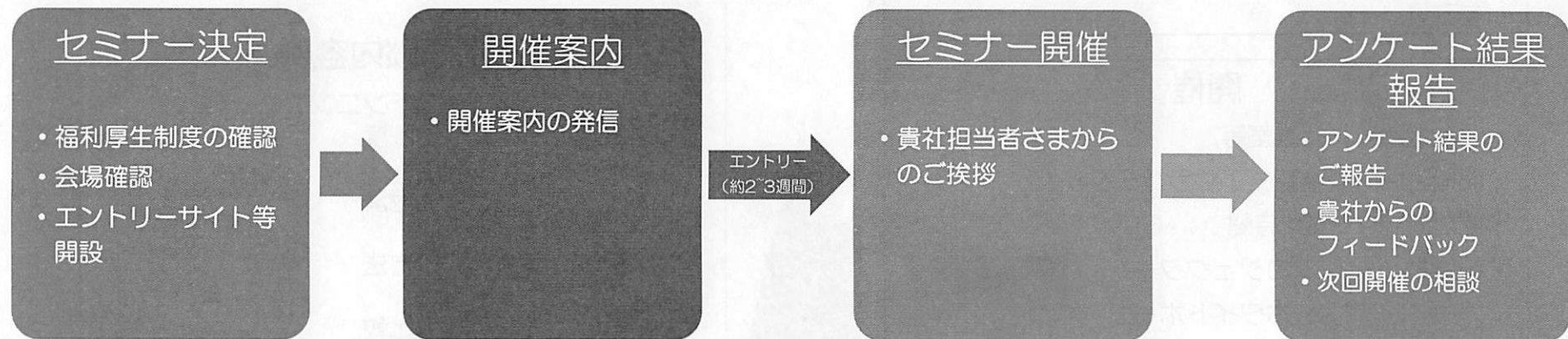
	20代	30代	40代	50代	60代
世代別 メニュー	マネープランセミナー 対象：20代～60代まで幅広く 女性向け				
	いまから始めるマネープラン 対象：新入社員～20代後半 			ライフデザインセミナー 対象：50代～退職前 	
テーマ別 コンテンツ	資産形成・資産運用 年金・医療・介護 相続				
	外貨運用のリスクとメリット 資産運用基礎（DC含む） 			大切なご家族のための 相続セミナー 	

個別相談事例

	40代・男性（配偶者、子供2人）	40代・女性（配偶者、子供なし）
相談内容	・現在の住宅ローンは適正か？ ・繰上げ返済すべきか？ ・教育費のため方は？ ・老後の資金は足りているか？	共働きのため経済的には余裕あり。貯蓄と運用商品はあるものの、旅行や外食等の支出も多い。不安とまではいかないが、このままで良いのか？客観的な目でアドバイスがほしい。
相談内容 と結果	1. 住宅ローン 当初の金利(1.4%)⇒0.9%へ引下。 (生涯支払金利を350万円削減) 2. 教育費 特に教育費目的の貯蓄なし。 必要額を計算し、積立方法をアドバイス。 専用口座を開設して、目標に向けて貯蓄開始。 3. 老後資金 老後の不足額⇒毎月の積立必要額を算出。 具体的に貯蓄口座を設定し、金融商品を選定。	1. 福利厚生制度の活用した保険見直しと老後資金計画 (1) 死亡保険 弔慰金制度の死亡退職金を確認⇒個人で死亡保険へ加入の必要がないとのご判断⇒加入中の死亡保険を解約。 (2) 医療保険 ・高額療養費の付加給付⇒自己負担分（月額）は限定的と確認。 ・退職後の為に現在の医療保険を減額継続⇒最低限の備え。 (3) 老後資金 DCに加入済みながら、運用先の変更を全く実施せず⇒DCのメリットと運用に関する考え方をアドバイス⇒運用先の変更。 2. キャッシュフローシュミレーション 夫婦の収入と資産状況を確認し、在職中及び退職後のキャッシュフローシュミレーションを作成。
ご評価	すべてのコンサルティングが終了したのち、「出会えてよかった」と感謝のメール。 「休日、自ら足を運んでまでセミナー（社外）に参加するつもりはなかったけれども会社の中で開催されるのでとても安心感もあり気軽に参加できた。初めて会社の福利厚生ですばらしいと思った。」	・具体的なキャッシュフローシュミレーションを確認し、漠然とした不安から解放。 ・何となく必要だと思って加入していた保険は、勤務先の福利厚生制度を利用することで見直しができ、将来に対する新たな準備のきっかけとなった。 ・相談したことで、<u>将来の目標も明確化。仕事もプライベートも安心して楽しむことが出来る。</u>この機会を利用して本当に良かった。

導入決定からセミナー実施までの流れ

開催決定から開催まで：約1ヶ月



セミナー 個別相談の運営概要

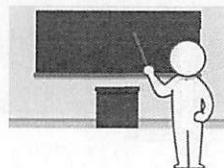
マネーセミナー

開催準備

- ・従業員（職員・所員等）の皆さま宛の開催案内を発信

開催

- ・開催場所 : 会議室等
- ・開催時間帯 : 業務終了やランチタイム
- ・開催時間 : 約1時間
- ・準備物 : プロジェクター
ホワイトボード



*セミナー内では保険商品には一切触れません。

開催後

- ・アンケート結果を集計の上ご報告
- ・必要に応じて内容の見直しのご相談
- ・実施計画の作成、見直し



個別相談

従業員（職員・所員等）の具体的な状況（資産・ご家族等）に応じた個別相談を実施。

<個別面談内容例>

- ・退職後のマネープランニング
- ・退職金、福利厚生制度
- ・確定拠出年金制度
- ・住宅ローンと繰上返済
- ・家計改善相談
- ・相続の課題と対処方法
- ・教育費の準備方法
- ・自宅の賃貸と購入比較

*法律、税務、不動産は一般的なご説明となります。

具体的な取扱については、各分野の専門家へお客様よりご相談頂く場合がございます。



御社の従業員の皆さまが

人生１００年時時代を安心して迎えられるために！

ぜひとも弊社をご活用ください。